

平成23年度 杉森中学校 第9回学校運営協議会 会議録

日時 平成 24 年 2 月 22 日(水)

運営協議会 17 時 00 分～19 時 20 分

会場 杉森中学校 会議室

出席者

《協議会委員》 石田 壽文
高崎 彰
大川 洋
伴野 博美
岡田 円治
松本 美智子
安藤 雄太
大熊 康子
由井 宮太郎

大橋 亮介(校長)

傍聴 一野 まり



《教育委員会》

田中副所長

《杉森中学校事務局》

田邊 克宣(副校長)
松尾 宏(生活指導主任)
金子 敏治(進路指導主任)
長谷川 祐子(嘱託事務)



司 会

今日は、教育委員会から本校担当の田中副所長にお越しいただきました。

A委員

色々とお話を伺いたいと思います。学校ではスキー教室も無事に終わったようですね。シュティー先生がケガをされたようですね。明日は都立入試です。良い結果がでるといいですね。

司 会
田 中

前半は教育課程についての協議。後半は学校関係者評価をやります。
では、田中副所長からご挨拶をお願いいたします。

杉森中学校には大変に大きな成果をだしていただいて、御礼を申し上げます。

今日は教育課程について話し合われるということで、簡単にお話ししたいと思います。すべての中学校にとって特別な年になると思います。まず平成 24 年度より新しい教育課程が完全実施になります。こちらの学校では以前より実施に向けて取り組んでいただいていたのですが、いよいよホップ・ステップ・ジャンプの、ジャンプの部分に当たります。

教育委員会としましても、区政の 10 年間を見据えた新しい基本構想についてみなさんにお知らせしたいと思います。杉並新教育ビジョン 2012 というものを出しました。これからの方向性を示したものです。

これまでの 10 年間で培ってきた基盤を踏まえて新たに進んでいこう。何か新しいものを…というよりも、今あるものを充実させていきたいと思います。

先日行われました教育課程説明会でも、この二つの事をふまえて、しっかりと学校評価の中で見つめていただいて学校・子どもの実態に合わせた教育課程をお願いしますということで、校長・副校長先生にはお願いしたところです。

「新教育ビジョン 2012」ですが、今までは学校間を競わせるということと捉えられがちですが、そうではなくそれぞれの学校が 10 年間がつんばってきた結果だと思います。小学校から中学校への学びの連続性といっているのですが、小学校で学んだことをさらに中学校で伸ばしていく…そういう教育課程編成をお願いしています。

小学校・中学校の縦のつながり、地域などの横のつながり、その両方を大切にしていきたいと思っています。

地域は学校のために、学校も地域のために生きていく…そのために小・中を整理してやっていけたらというなげかけをしています。

社会体験活動から、自分自身の生きる力を見つけて、地域の中でどうやって自分の力を発揮していくかということも大切です。

田 中

杉森中では、すでに取り組んでいらっしゃいますが、それぞれの学校で少しずつ進めて生きたいと思います。小・中だけでなく就学前からのつながりも大切にしていきたいと思っています。

時間数や新しい内容、教科書について、それらを踏まえて先生方が指導計画を作ってくださっているところだと思います。

都や杉並区の学力調査の結果を踏まえた授業ができるような教育課程にしてくださいとお願いしています。

言葉の教育では、例えば杉一小では古典に触れながらやっています。済美教育センターではそのための教材も開発しています。中学校では言語活動から教養に発展してもらいたい。中学校では読書ということです。月に1時間、読書に関わることをやっていただきたい。週1回15分位、読書とは別に古文・古典の音読・暗唱などをお願いしています。後は、特別支援教育の充実。杉並区の中学生は、学力は高いのですが、残念ながら体育は充実していないようです。

防災に関わる動きについては、しっかり考えていただきたい。本年度3月までに、引き取り訓練をやってほしいと思います。年間に1回の引き取り訓練をやっていく、震度5弱で学校活動をやめて、引取りをしてもらうということもしっかりと指針に入れる予定です。

以上が重点事項です。



- 校長 スキー教室についてですが、シュティール先生がケガをしましたが、生徒たちは無事に移動教室を終えることができました。
「またスキーをやってみたいかい？」と聞いてみたところ、みんな手を上げました。4日間の実施なので、上達も早かったです。
明日は都立受験で 2/3 の生徒が受験します。
新一年生、今のところ 115 名が入学予定(確定)。まだ確定していない入学予定者が 13 名いますので、4 学級になる可能性もあります。
中一ギャップの対応であれば、37 名 4 学級ということになります。
- 副校長 年度末です。行事も順調に進んでいます。1 年生の校外学習もおちついた態度で無事に終了しました。
3 月 5 日から校内作品展です。3 月 9 日は卒業記念講演もごさいますので、ぜひ足を運んでいただけたらと思います。
馬橋小・杉一小との連携もうまくいっています。先週馬橋小の 2 年生が生活科の見学で杉森中にきました。
- 教務主任 教務部の年度末反省をお配りしました。学校評価の意見を受けてそれぞれ考えてみました。定期考査全学年統一ではない実施も提案してみたのですが、とりあえず授業時数のこともあり、今までどおり年間 30 時間の枠でやっていきたいと思います。
- 生活指導 先ほど杉並区の体育はあまり結果が出ていないとのお話しでしたが、杉森中では、2・3 生男子は体育では全国を上回っています。
引き取り訓練は 2 月 29 日に行います。
学校評価では生活指導の方針を明らかにするということでやっていきたいと思います。
清掃もやり方が違うので、年度初めに話し合いたいです。保健委員の付き添いがないと保健室にはいけなかったのですが、授業中に付き添うのは大変だということで、本人にカードを持たせていかせるようにしたいです。
- 進路指導 道徳公開講座は、昨年・一昨年と主題を決めて、授業内容を決めました。来年度も色々な主題を考えて取り組んで生きたい。
進路指導も差がでてしまうとの事なので、3 年間の連携を大切にしたい。



校 長

昨日、教育課程相談会に行って指摘されたもの、月別予定表をお配りしました。杉並区の教育目標をすべて盛り込んであると思います。自ら考え判断する…。道徳教育で人権尊重をきちんと理解させる。杉一・馬橋と連携して 9 年間力を入れてやっていきたいと思っています。また学校支援本部の連携にも力を入れていきたいと思っています。CS からもご意見がでています、イングリッシュサマーキャンプはこれからも継続していきたい。こういった体験をさせて、キャリア教育にもつなげていけたらと思います。

学校司書が入ったので、読み聞かせなど力を入れていきたい。

各教科と食育を関連付けてやっていきたい。今年の特別活動では子どもたちが地域に出てがんばって活動してくれたので、来年度もぜひ続けていきたい。

生活指導については、全体体制で「いじめはさせない」ということでやっています。安全指導・ネット犯罪への対応。防災教育の実施も進めていきます。

年間行事予定では、8 月 28 日始業式となっています。夏休みが 4 日間短くなるということです。馬橋小にあわせました。



司 会

先生方より時数などのお話ししていただけますか。

B 委員

道徳教育の公開講座は平日ですか。

進路指導

まだ決定ではありません。6 月 16 日(土)か 9 月 8 日(土)を予定しています。これから内容も検討します。

司 会

ぜひ地域の方々が参加しやすいように設定をお願いします。

B 委員

杉一はキャリア教育をしているのですが、中学でもそれを持続させていってほしいです。

教 務

馬橋・杉一と話し合いました。いろいろな意見があり、馬橋と杉一の違いもあり、同じ事を繰り返しやるということもできません。

どこで折り合いをつけるかということが難しいですね。

田 中 小学校と同じものを中学でやってもらいたいということではありません。小6と中3の出口を意識してもらいたい。私立に行った子たちとも地域のつながりを大切にしてほしい。

A委員 武道の予算はどうなりますか。防具や施設の予算など。

田 中 すべての授業に学習補助員をつけるということになりました。人選をしているところです。ただ人を配置するというだけでなく、1学期の早い時期に指導規約をだしてもらおう。1年のうちから高度な技に入らない。竹刀などの用具点検をするということ。確認を指導員にやってもらおう。

A委員 防具の予算は？

田 中 予算措置を付けています。

A委員 本校では？

生活指導 来年度からというより、以前から男子は相撲を選択でやっています。女子は剣道の形をやる予定です。木刀を使うので、指導者が配置できるようになったらやってほしい。柔道は指導員がいても事故がおこったりします。安全面では気をつけていても難しいものがあります。急に40人に柔道を教えることが不可能かもしれない…。乱捕りや難しい技はやらせません。



- A委員 では、学校関係者評議委員会をします。PTA 会長の露木さんにもご出席いただけきました。
- 司 会 学校評価案をごらんください。まず校長先生からお話しを…。
校 長 3 月の最後の日にみなさんに提示して区に提出したいと思います。
- ・ ESC の実施。今年は非常にレベルが高かった。
 - ・ 朝読書・読み聞かせを継続してほしい。
 - ・ 言語活動の充実をはかりたい。
 - ・ 書評・読書感想文などの時間を設定してほしい。
 - ・ 食育を推進したい。今度 3 月に 3 年生が郷土料理で鍋をつくりま
す。
 - ・ 成績は都より上位、区より少し上です。
- 一年生は現在落ち着いています。よくなってきているようです。わ
かる授業に向けて改善していきたいです。バラつきがあったとのこ
とですが、それも改善していきたい。
- A委員 ESC では先生が入れ替わると、当初の意気込みが薄れるのではな
いでしょうか。先生のかたよりがないようにしてほしい。
- B委員 質が高くなっているので、それを保ってほしい。
- A委員 表現ということでは、朝読書の時に感想を述べるなど、発表する
能力をのばしてほしい。言語活動の大事な部分ですから、ぜひ計画
的に入れてほしい。
- C委員 「いのちの教育」読書感想文を杉並区で募集していましたね。こ
ういう機会に意識付けができるといいですね。
- D委員 食育というと「栄養」だけとか、せまい意味で捉えがちだが他の
教科との連動をさせてほしい。「生きる」ということや「食べる」
「食べ物をつくる」ということまで関連づけていけたら。
- A委員 各教科のシラバスがでてきますね。㊦とか㊧などの印をつけて
いけば、先生の意識付けにも残るのでないでしょうか。具体性を帯
びるのでは。
- E委員 読書も㊦としてほしいですね。

B 委員 基礎・規律が大切ですよ。もっときびしい評価をつけないければ。
先生方の意識も曖昧なままでは困ります。

A 委員 先生が異動されると意識も変わってしまいます。授業が始まる前
には、先生も生徒もきちんと教室にいるということが大切です。

司 会 評価をつける時にはきちんと分析しなくてはいいですね。
補習については和田中では低学が伸び悩んでいる生徒に時間を決
めて勉強をやっているようです。こういうしくみもいいのでは。学
校支援本部と連携はとれないものでしょうか。朝読書はたくさん読
むというばかりでなく、本を読むのが好きになるといいですね。

校 長 では、生活指導・進路指導にいきたいと思います。

校 長 いじめの調査は学期ごとにしています。早期発見できめ細かく生
徒に対応していく。教育相談は養護教諭とカウンセラーが連携して
います。不登校のこども・親にも対応してもらっています。

校 長 キャリア教育では 2 年生が職場体験先を自分で探してきたという
事がとてもよかった。過去のやり方の良いところを踏襲してほしい
ですね。

司 会 何かご意見はありますか？

A 委員 情報の共有化を推進するということは…学年会で話し合って専科
の先生に入ってもらおうとか、みんなで一人の子どもについて討論す
るような、きめ細やかさがほしいですね。

B 委員 不登校の生徒に対する保護者の心配があります。よりきめ細かい
対応をお願いしたいですね。

司 会 道徳・総合的な授業については…

校 長 年に二度の講演があります。道徳的实践力がまだまだですが、子
どもたちの事を考えると、ボランティアへの参加数も増えています。
3 月 11 日の影響もあるかもしれません。

校 長 生徒会活動のボランティア・地域活動への参加だけでなく、生徒
全体の活動としてできるようにしていきたい。

F 委員 「いのちの教育」と道徳の内容が重なってないかという意見があ
りましたが、授業の中で十分に扱われていないのではないでしょ
うか。年間の指導計画の中の道徳内容と、各学年で作ったものと一致
していないですね。時間的にも少なくなっているようです。特に 2・
3 年生は抜けている所が多いようです。日常の道徳教育力が発展して
いかないのでは…。資料を読んで感想を言っているだけになってし
まう…。道徳の授業を楽しいという子も少なくなっている。

- F 委員 なぜなら、いつも同じ。資料が多い。こうしなければ…と初めからわかっていることばかりだから。
- 月曜の一時間目に行っていることが多い。道徳は公開授業だけなのでしょうか？2年生の年間計画は資料が「心のノート」だけ。
- 本当の指導計画を作ってもらわなくては。
- G 委員 最近の講演について感じたことは、今「命」というテーマを安易に使いすぎてつまらなくなっているのではないか。お経のように唱えているが、私たちの頃も道徳はつまらなかった。
- ハーバードの授業では「戦争はいけないことだ。では、なぜ始めるのか？」「99人救うために1人が犠牲になるのはいいのか、悪いのか」という議論をしていた。まずは教師も大変だが、突き詰めて勉強をしてから授業をしてほしい。
- 校 長 学校運営についてですが、地域運営学校としては、地域の連携を大切にしていきたい。支援本部・PTA 役員・学校との会合をもっと持ちたい。ホームページの内容改善をもっとしていきたい。
- 「学年便り」は充実していると思います。
- 司 会 学校公開日の意義、できるだけ保護者に来てもらうという事を考えてほしい。保護者に魅力のあるものにしてほしい。
- F 委員 保護者が安心して来てくださるといいですね。
- T 評価委
員 PTA運営委員会はPTAサイドで数が少なくなってしまったと思います。学校とのコミュニケーション不足があると思いますので、次年度から検討していきたいと思います。今は別々の組織のような感じですが、子どもたちのためという活動目的は同じなので、良い関係を築いていきたいと思っています。
- A 委員 単なる連絡会議だけではなく、行政の連携を密にしたいですね。地域の学校に校長先生・先生方に出かけていってもらいたい。情報を発信していただきたい。
- A 委員 では、校長先生のほうでご意見をまとめていただき、次回承認するという形にしたいと思います。